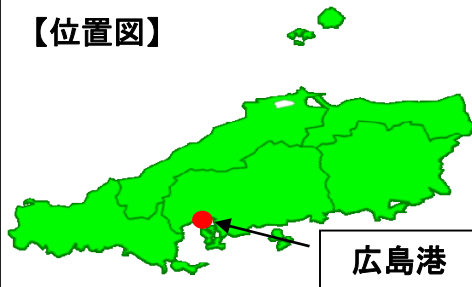


広島港 港湾計画 一部変更

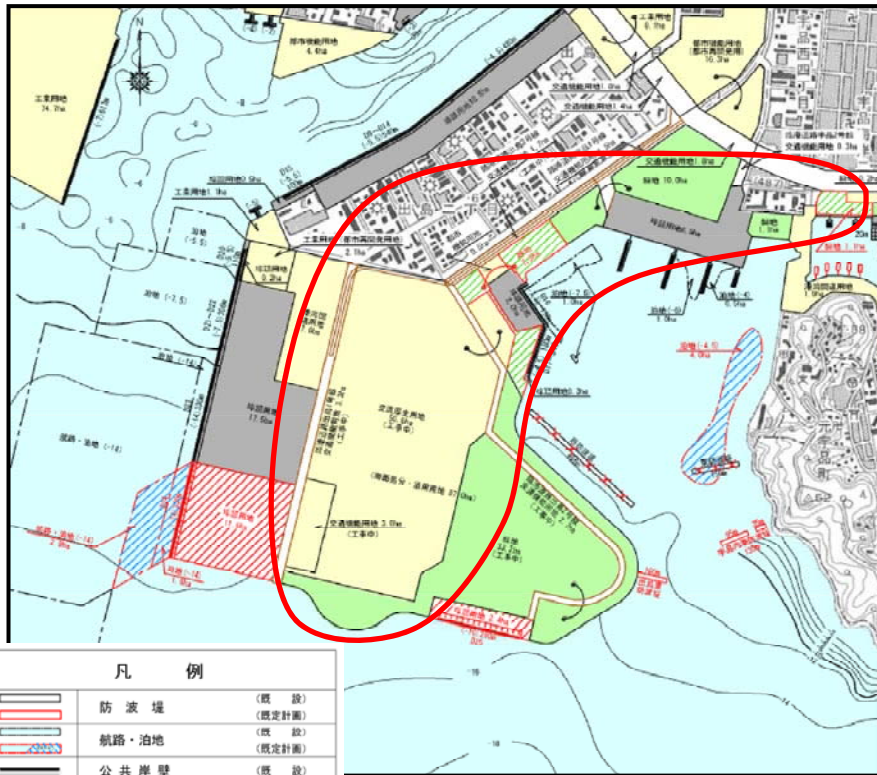
平成22年11月15日
交通政策審議会
第39回港湾分科会
資料3-2

【位置図】



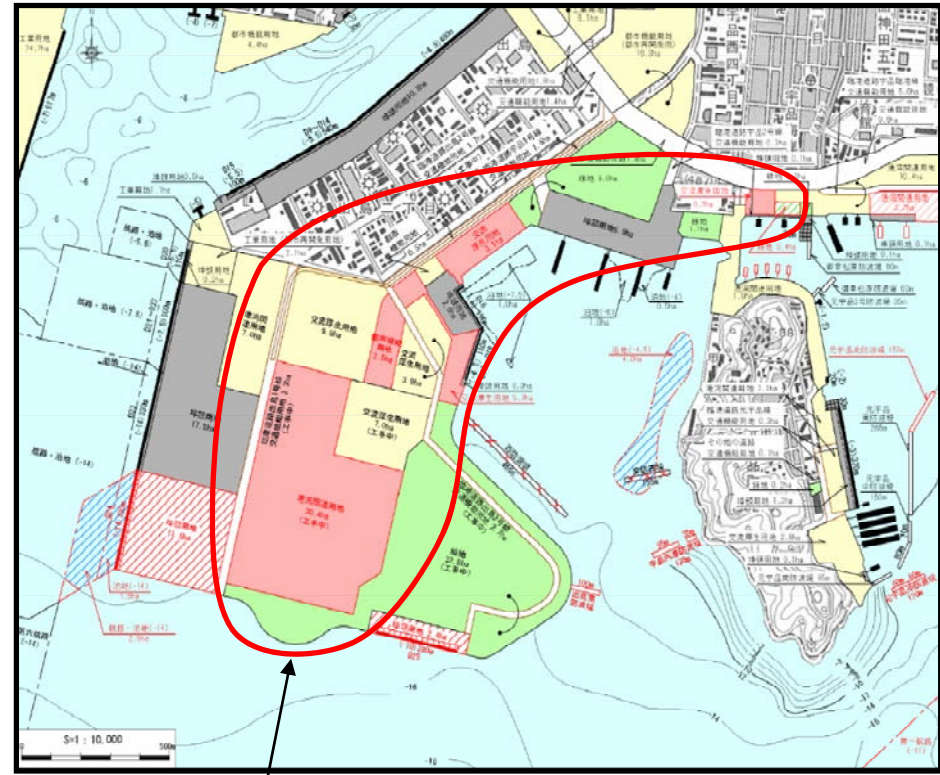
広島港計画変更の概要

既定計画



凡 例	
	防波堤 (既設)
	防波堤 (既定計画)
	航路・泊地 (既設)
	航路・泊地 (既定計画)
	公共岸壁 (既設)
	公共耐震強化岸壁 (既定計画)
	公共物揚場 (既設)
	公共船揚場 (既設)
	専用岸壁及び専用揚場 (既設)
	ドルフィン (既設)
	小型さん橋 (既定計画)
	緑地 (既設・工事中)
	緑地 (既定計画)
	臨港道路 (既設・工事中)
	その他道路 (既設)
	その他の用地 (既設・工事中)
	その他の用地 (令画計画)

今回計画



- コンテナ取扱いに関する物流機能強化のため、出島地区において交流厚生用地を港湾関連用地 (30.4ha) へ変更。
- 教育施設の移転に対応するため、出島地区において交流厚生用地を都市機能用地 (2.5ha) へ変更。
- 臨海部における賑わい空間の形成に対応するため、宇品地区において緑地を交流厚生用地 (9.5ha) へ変更。

広島港出島地区の土地利用計画(既定計画)

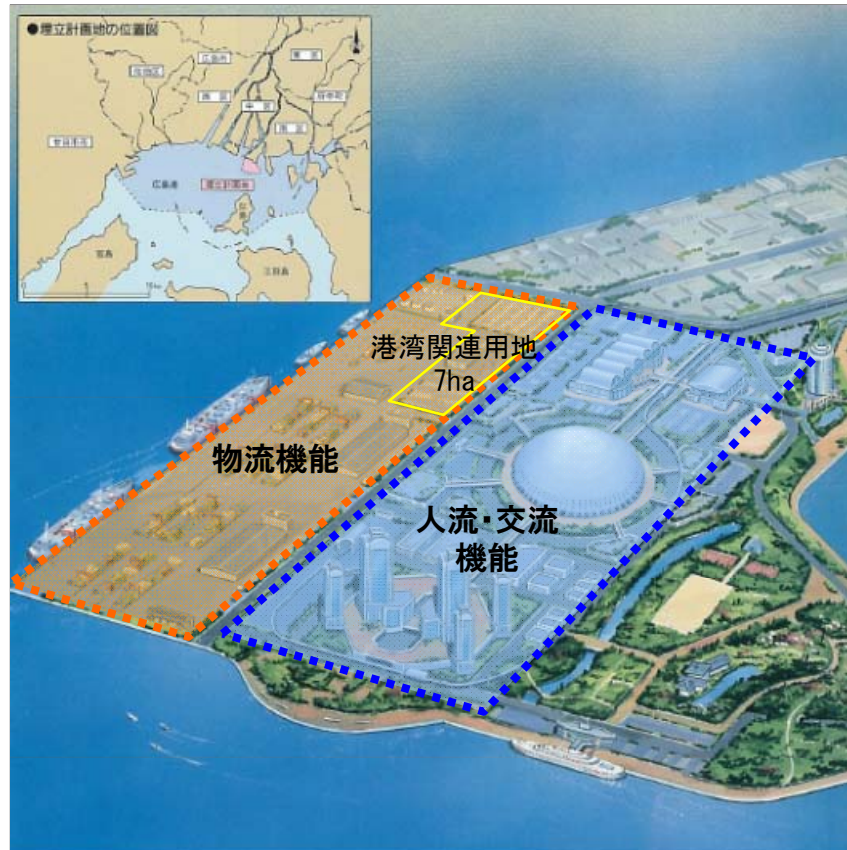
背景

- 昭和62年 広島ポータルネッサンス21計画策定
- 平成元年 広島港港湾計画改訂

- ・国際港湾・物流拠点としての機能強化や交流施設の整備要望



- ・外貨コンテナを取り扱う国際海上コンテナターミナルの計画
- ・国際交流拠点として、メッセ・コンベンション機能等の施設整備に対応する交流厚生用地の計画



「広島ポータルネッサンス21」における
出島地区の整備イメージ

広島港出島地区の土地利用計画の見直し

背景



土地利用計画見直し後の出島地区の整備イメージ

- ・コンテナターミナル背後に倉庫等の物流施設用地の要望
 - ・広島港における非効率な荷役(倉庫の点在や老朽化、横持ちの発生)
 - ・類似交流施設の整備(マツダスタジアム)
 - ・物流拠点に関する国の基本方針
- ↓
- ・コンテナターミナル背後に物流施設の立地を進め、コンテナ貨物の輸送拠点としての機能強化のため、港湾関連用地を拡大。
 - ・交流施設の機能・規模を見直し、交流厚生用地を縮小。

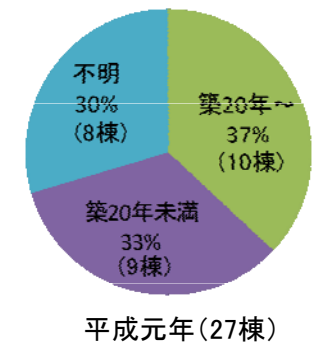
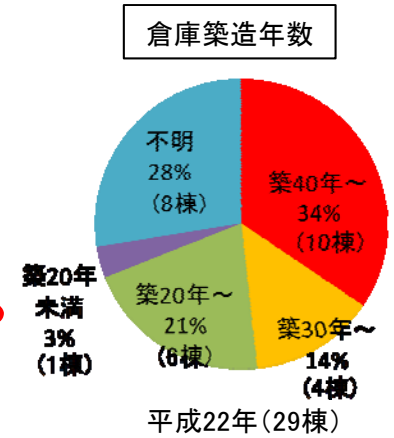
広島港における物流倉庫の現状と課題



老朽化した倉庫

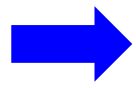


コンテナ取扱に対応していない倉庫



- 築40年以上
- 築30年~40年未満
- 築20年~30年未満
- 築20年未満
- 不明

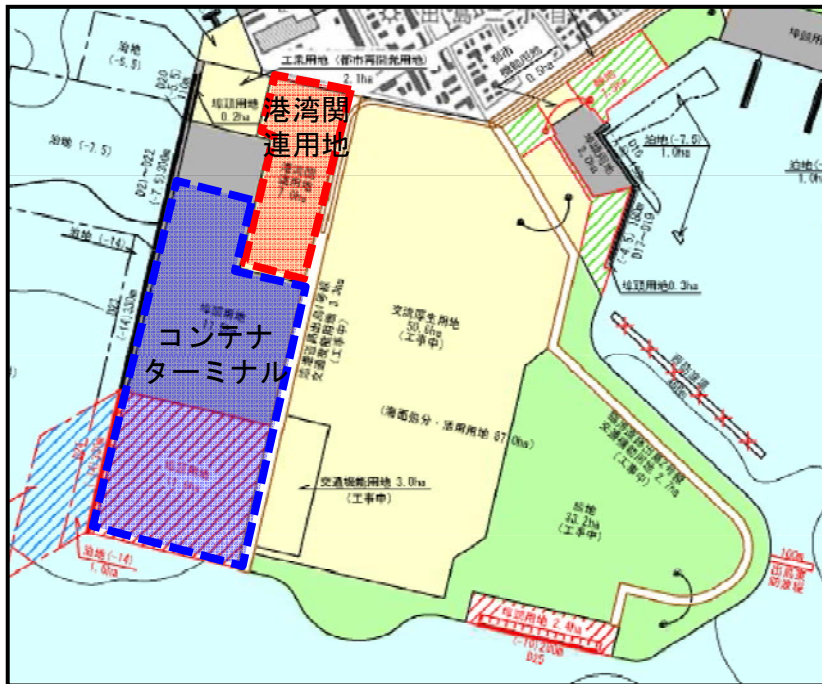
- ・ コンテナ貨物を取り扱う倉庫が点在
- ・ 倉庫の老朽化
- ・ 横持ちの発生による非効率な荷役



出島地区に、物流施設等の用地を確保することにより、荷役の効率化を図り、コンテナターミナル背後の物流機能を強化

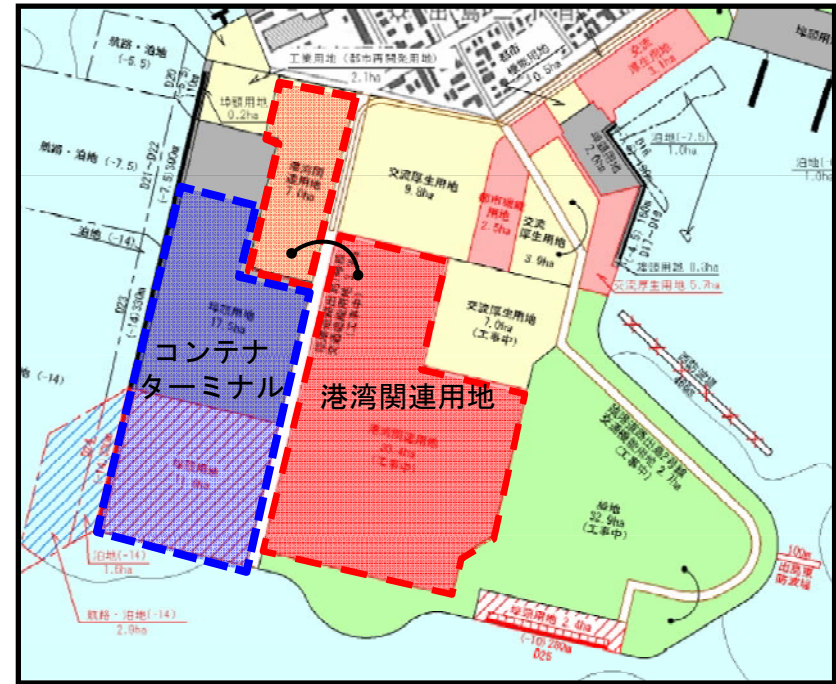
広島港のコンテナターミナルと港湾関連用地

既定計画



岸壁：-14m × 2バース（660m）
 -7.5m × 1バース（150m）
 ふ頭用地：26.2ha
 港湾関連用地：7.0ha

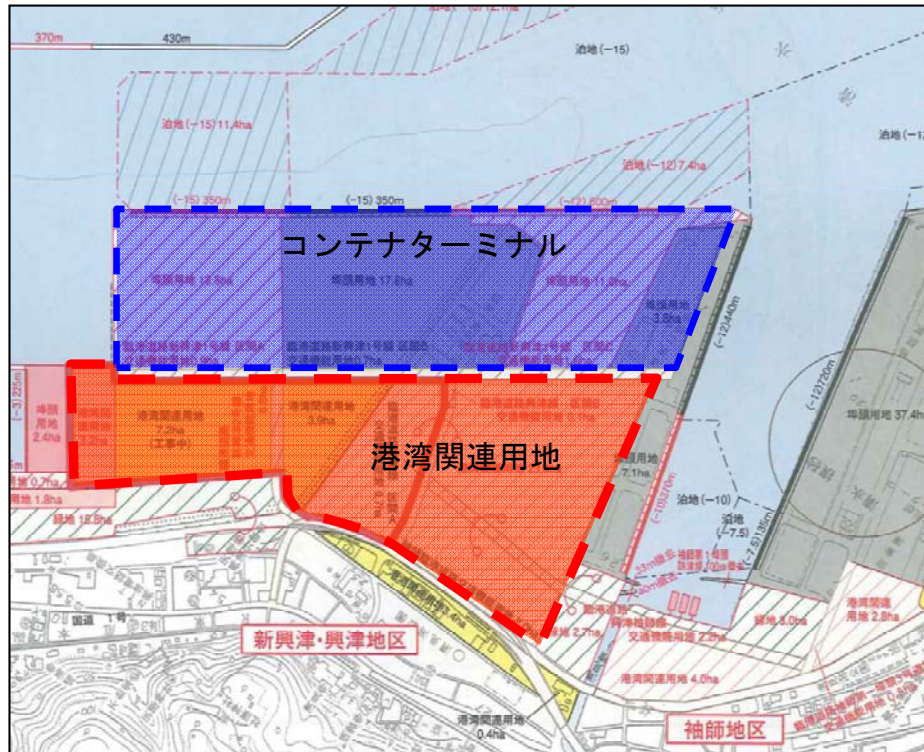
今回計画



岸壁：-14m × 2バース（660m）
 -7.5m × 1バース（150m）
 ふ頭用地：26.2ha
 港湾関連用地：37.4ha

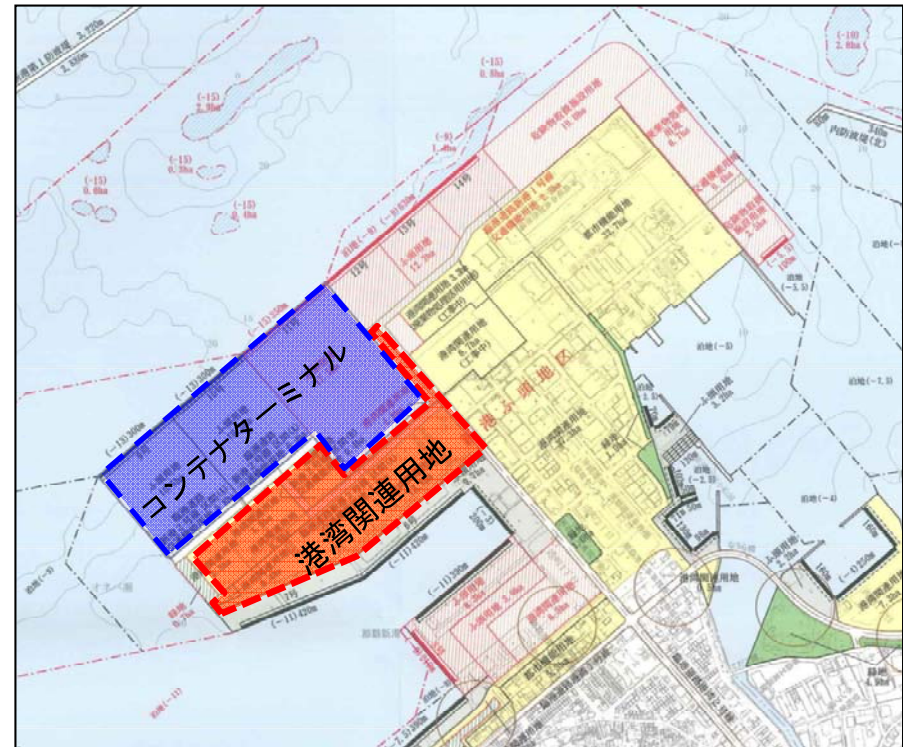
コンテナターミナルと港湾関連用地(他港の事例)

清水港



岸壁：-15m×2バース (700m)
 -12m×1バース (500m)
 ふ頭用地：45.5ha
 港湾関連用地：37.7ha

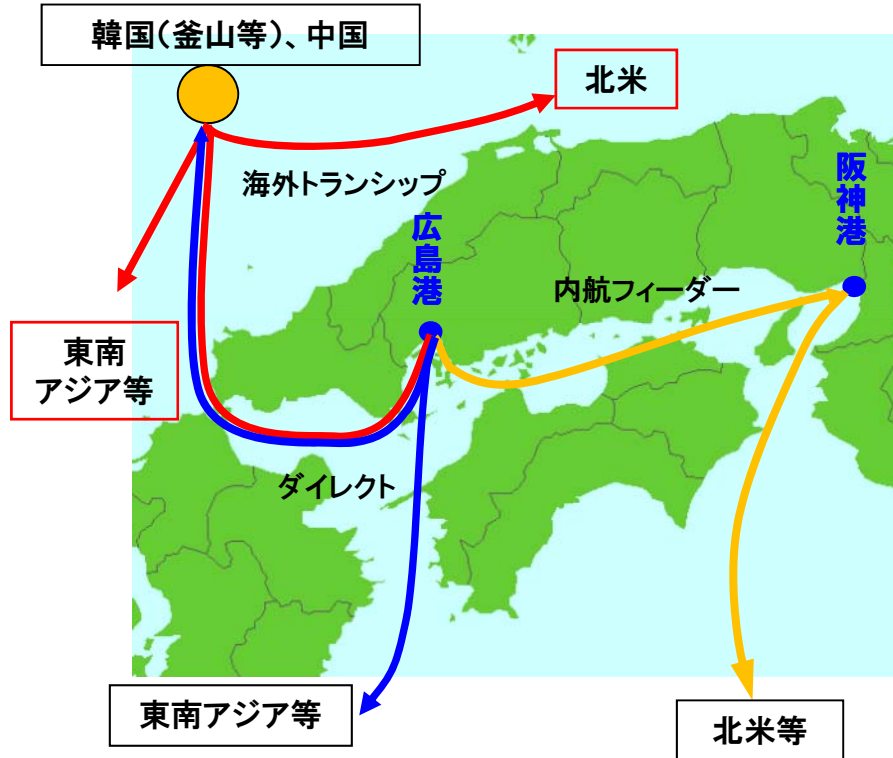
那覇港



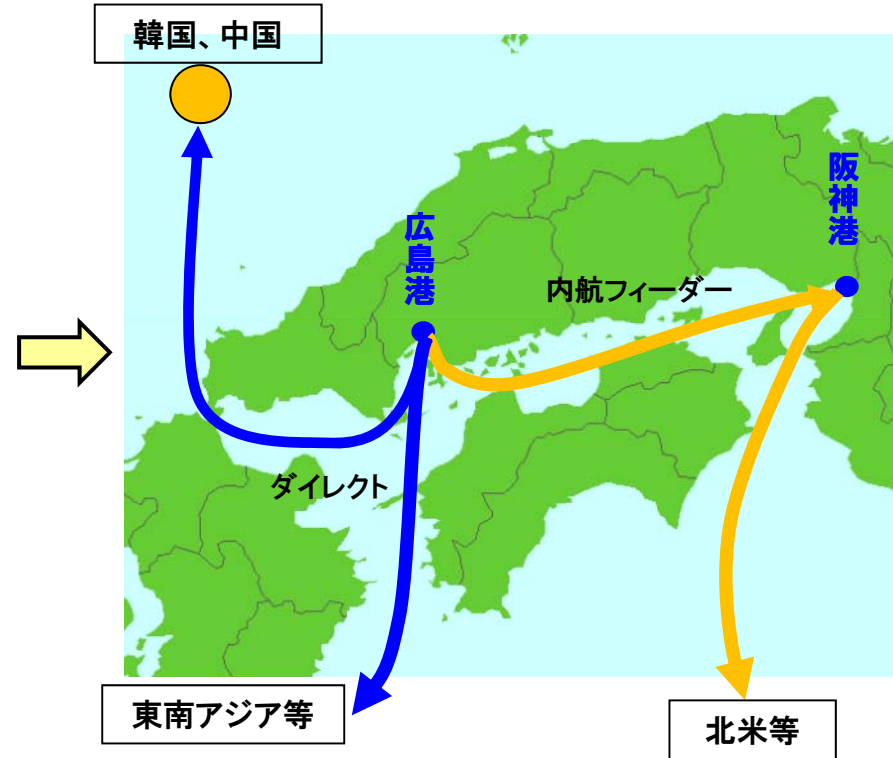
岸壁：-15m×1バース (350m)
 -13m×2バース (600m)
 ふ頭用地：38.5ha
 港湾関連用地：24.2ha

広島港における戦略港湾との関係について

(現況)



(将来)



広島港のコンテナ取扱量 (平成20年)
 外貨コンテナ取扱量 : 167千TEU
 内貨コンテナ取扱量 : 44千TEU

(参考) 広島港における国際海上コンテナの輸送形態別割合

ダイレクト	海外トランシップ	内航フィーダー	合計
63%	34%	3%	100%

(※H20.11貨物流動調査より)

<輸送形態の凡例>

- 海外トランシップ —
- ダイレクト —
- 内航フィーダー —

確認の視点

確認事項	国としての確認の視点	
	基本方針※1	戦略港湾施策※2
コンテナ取扱いに関する物流機能強化のための港湾関連用地の拡張	<p>国際海上コンテナ輸送網の拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテナターミナルに隣接する地域に物流拠点を適切に配置する。 	<p>基幹航路維持・強化のための広域からの貨物集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>地方の港湾も含め、我が国全体として効率性が高く、環境にやさしい内航フィーダーネットワークを形成するため、地方の荷主も含めた国際コンテナ戦略港湾と地方の港湾との運営等での連携等強化や、地方の港湾における内航フィーダー機能の強化等ネットワークを支える仕組みづくりを進める。</u>

※1: 港湾の開発、利用及び保全並びに開発保全航路の開発に関する基本方針

※2: スーパー中核港湾政策の総括と国際コンテナ戦略港湾の目指すべき姿